令和８年度　第３回豊富町地域公共交通活性化協議会

日時：令和８年 11 月 11 日(水)　14：30～15：30

場所：豊富町定住支援センター大ホール

１．　開会

２．　会長挨拶

３．　報告事項

（1）温泉線デマンドフィーダー系統確保維持費補助金計画認定（資料 1）

（2）温泉線デマンドバス実証実験運行報告等（資料１－１・2）

事務局より説明

　質疑応答　　特になし

４．　議事事項

（1）令和８年度事業予算（案）（資料 2）

（2）令和９年度事業計画（案）

★交通空白等解消リ・デザイン全面展開プロジェクト交通空白解消タイプ（資料 3）

①豊富町地域公共交通利便増進計画推進事業（資料３－1）

②町内公共交通ガイドブック作成素案（資料３－2）

③交通空白地有償運送運転者講習事業（資料３－3）

　事務局より説明

　質疑応答

【A 委員】

バスガイドブックの内容については、取りまとまっていると思うが、その後の周知方法は？

ホームページへの掲載や全戸配布など、現時点で想定している周知方法があれば教えていただきたい。

【事務局】

ホームページへの掲載や全戸配布については、今後検討していく。

バスダイヤ等の変更に伴い、ガイドブックは毎年一部改訂が必要になると想定されるため、 その都度全戸配布することは費用面で難しい。

まずはハイヤー券等の利用者や高齢者など、日常的に自家用車を利用できない方を中心に配布することを考えている。

具体的な配布方法は現時点で決定しておらず、ガイドブックの作成を進めた上で、庁内で検討し、改めて協議会に提案する予定である。

【会長】

ホームページへの掲載や紙媒体での配布だけでなく、メールや LINE 等を活用した情報発信も検討すべきで、 公共施設等への設置・配布も含め、幅広い周知方法を検討する必要がある。

町民に情報を浸透させるため、さまざまな周知手段を組み合わせることが重要であるため、早急に検討する。

【会長】
ガイドブックの作成にあたっては、関係団体や関係者の意見が反映されるという認識でよいか。
【事務局】
関係者の意見を反映しながら作成する予定である。
既に庁内協議を実施しており、スクールバスの関係者や、買い物バス・町内巡回バスを担当する他部署に対しても、ガイドブック案を共有し、内容の確認を依頼している。
今後も関係者との調整を進めながら内容を整理していく。
【会長】
バスガイドブックは、いつ頃の完成を目指しているのか。
【事務局】
ガイドブックの素案は、現時点でおおむね完成に近い状況である。
作成にあたっては、令和９年度の補助事業を活用することを想定している。
補助事業の認定後、補助申請を行い、補助金を活用しながら作成を進める方針である。
具体的な作成スケジュールについては、補助事業の進捗に合わせて、改めて協議会で示す予定である。

５．地域公共交通事業制度等について
国土交通省北海道運輸局旭川運輸支局
首席運輸企画専門官　中野渡　剛志　氏

６．講評
NPO 法人まちづくり支援センター代表理事
豊富町地域公共交通活性化協議会アドバイザー　　為国　孝敏　氏

７．その他
（1）次回開催について等

８．閉会